

橋爪 幸代
上智大学 助手

長寿社会におけるひとり親家庭に対する支援

離婚率の上昇等にもとない、ひとり親家庭の数は増加傾向にある。本研究では、ひとり親家庭の生活に関する先行研究を通して、特にひとり親家庭におけるニーズを解消する私的資源として、子の祖父母がどのような役割を果たしているかを示し、その上で現行制度における課題を検討した。

まず、日本におけるひとり親家庭の傾向を分析し、特に祖父母同居家庭と祖父母非同居家庭とを比較した。ひとり親家庭に対する支援を 家事や育児の援助、 家計や物品の援助、 就労の援助に分けた上で、私的資源としての祖父母が、ひとり親家庭に対して、どのような役割を担っているかを分析し、現制度と比較して、今後はどのような支援策が必要とされるかを検討した。

次に、日本制度の検討を踏まえた上で、イギリスにおけるひとり親家庭の傾向を分析し、特に家事・育児支援サービスの利用状況、私的資源の活用状況について検討した。